

令和2年度  
事業報告書

社会福祉法人山武市社会福祉協議会

# 令和 2 年度 事業報告

## 【 概 要 】

令和 2 年度は、当初より新型コロナウイルスの影響により事業の縮小を求められた。更に、感染者の拡大による緊急事態宣言の発令により会議や人が集う事業が制限され、生活上必要な各福祉サービスの継続と地域の助け合いやつながりによる地域福祉活動を進めることに大変苦慮した年だった。

また、長期にわたる社会活動の制限による地域経済への影響で、日常生活が困窮する市民の方が増大し、国が支援のため創出した特例貸付に対する申請対応に職員全員で取り組み、市民生活の安定に努めた。

このように、安心して市民が暮らし続けることができるように市民サービスの低下を招かないよう努力し、山武市と連携し感染予防対策を取りながら地域福祉活動をすすめてきた 1 年といえる。

## 【重点項目】

### 1. 高齢者が安心して生活することができる地域づくりの推進

- ・新型コロナウイルスの影響の中、人が集う会議や事業が思うように進められなかったが、市民が助け合いを意識し新しいつながりを進める活動を積極的に推進した。山武地区の第 2 層生活支援コーディネーターを新たに配置し、地域課題の把握に取り組むとともに、高齢者の生活と終活の問題を解決するための相談会を設置することができた。
- ・高齢者が健康で生きがいをもって地域で暮らし続けることができるように、居場所づくりの活動支援及び「通い・集い・交流する居場所づくり運営費補助金」制度の活用促進に努めた。（補助金活用 9 団体 前年度 7 団体）

### 2. さまざまな生活課題への積極的な取り組み

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業への取り組み
  - ・生活就労相談室に職員 3 名を配置し、生活困窮者に対し、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施した。
  - ・関係機関との共催事業（ひきこもり当事者への支援等）の実施、繋がりづくりや情報の共有に努めた。
- (2) 成年後見事業への取り組み
  - ・成年後見制度の周知と理解を深めるための広報啓発活動に努め、職員も増員されたことにより相談の充実や後見人支援もできた。
  - ・法人後見業務として、被後見人の意思を尊重しながら、安心して暮らし続けることができるように支援を行った。

### **3. 災害時における支援体制の整備**

- ・災害ボランティアセンター立ち上げマニュアルの作成を進めるとともに、山武市防災担当課と情報交換会議を開催し、今後災害発生時には互いに連携を行う取り決めについて話し合い、合意することができた。

### **4. 社会福祉法人の健全な運営**

- ・理事会を業務執行に関する意思決定機関として位置付け、事業をすすめてきた。
- ・安定した法人運営を行うため、事業に見合った適正な支出管理に努めた。
- ・働き方改革関連法の施行を受け、適用される制度へ対応するため市担当課と協議を重ねてきたが、合意することができなかった。今後も市と協議し、理解が得られるよう努めていく。
- ・近年退職者が増えたため新たな人材確保に努めたが、補充ができない状況である。人材を確保することは、社会福祉協議会運営の基礎として、大きな課題となっている。

## 【 会 議 】

### 1. 評議員会 (全2回)

定時評議員会	期日等	令和2年6月25日(木) (書面による決議)
	出欠等	23名 (定数23名)
	議 題	(1) 令和元年度事業報告及び決算について

第2回	期日等	令和3年3月16日(火) 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者18名・会長 欠席者7名 (定数25名)
	議 題	(1) 令和2年度資金収支補正予算について (2) 令和3年度事業計画及び資金収支予算について

### 2. 理事会 (全5回)

第1回	期日等	令和2年6月1日(月) (書面による決議)
	出欠等	理事15名・監事2名 (定数15名)
	議 題	(1) 評議員選任・解任委員の選任について (2) 令和元年度事業報告及び資金収支決算について

第2回	期日等	令和2年7月16日(木) 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者：理事10名・監事2名 欠席者：理事5名 (定数15名)
	議 題	(1) 評議員候補者の選定について (2) 住民参加型在宅福祉(家事援助)サービス事業運営委員会委員の選任について (3) 第15回山武市社会福祉大会の開催について (4) 福祉イベントの中止について (5) チャリティイベントの中止について
報告事項	(1) 山武市青少年育成市民会議委員の選出について (2) 共催の承認について (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止等による取り組みについて	

第3回	期日等	令和2年9月30日(水) 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事：11名・監事2名 欠席者：理事4名 (定数15名)
	議 題	(1) 職務執行状況の報告について (2) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会表彰規程の一部改正について (3) 第15回山武市社会福祉大会における山武市社会福祉協議会長表彰及び感謝の決定について (4) 第15回山武市社会福祉大会について (5) 共同募金運動の実施について
報告事項	(1) 共催の承認について (2) 第70回千葉県社会福祉大会の中止について	

第4回	期日等	令和2年12月4日(金) 於:成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事:10名・監事2名 欠席者:理事4名 (定数14名)
	議 題	(1) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について (2) 令和2年度歳末たすけあい募金による要支援世帯見舞金の配分について (3) 令和2年度歳末たすけあい募金による福祉活動団体支援事業助成金の配分について
	報告事項	(1) 理事の退任について (2) 区長回覧協力について

第5回	期日等	令和3年3月11日(木) 於:成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事:10名・監事2名 欠席者:理事4名 (定数14名)
	議 題	(1) 職務執行状況の報告について (2) 事務局長の採用について (3) 役員等賠償責任保険契約の締結について (4) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会福祉輸送サービス事業実施規程の一部改正について (5) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会住民参加型在宅福祉(家事援助)サービス事業実施規程の一部改正について (6) 令和2年度資金収支補正予算について (7) 令和3年度事業計画及び資金収支予算について
	報告事項	(1) 災害時要援護者名簿について

### 3. 監事会

期日等	令和2年5月13日(水) 於:成東老人福祉センター 第1会議室
出欠等	出席者2名・会長
内 容	令和元年度事業及び会計に関すること

### 4. 評議員選任・解任委員会

期日等	令和2年7月29日(水) 於:成東老人福祉センター 第1会議室
出欠等	出席者4名・会長
内 容	(1) 評議員の選任について

## 5. 広報委員会（全4回）

第 1 回	期日等	令和2年8月6日（木） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者6名 欠席1名
	議 題	（1）会報第58号（R2年秋号）の発行について

第 2 回	期日等	令和2年9月10日（木） 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者6名 欠席1名
	議 題	（1）会報第58号の校正について

第 3 回	期日等	令和2年10月8日（木） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者6名・欠席1名
	議 題	（1）会報第59号（R2年冬号）の発行について

第 4 回	期日等	令和2年12月10日（木） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者7名
	議 題	（1）会報第59号の校正について

## 6. 企画財政委員会及び地域福祉委員会合同会議

期日等	令和2年7月9日（木） 於：成東老人福祉センター 大会議室
出欠等	企画財政委員会 出席者6名・会長 欠席者2名 地域福祉推進委員会 出席者7名 欠席者1名
議 題	（1）委員長、副委員長の選出 （2）山武市社会福祉大会について （3）チャリティイベントについて （4）福祉イベントについて （5）その他

## 7. 山武市社会福祉協議会法人後見運営委員会

期日等	令和3年3月23日（火） 於：成東老人福祉センター 大会議室
出欠等	出席者8名・欠席1名
内 容	（1）後見人候補の推薦受任について （2）令和2年度事業報告について （3）令和2年度事業経過報告について （4）その他

## 【事業】

### 1. 第3次地域福祉活動計画の推進

目的と概要	地域福祉活動計画に基づき地域住民の主体的な活動やコミュニティづくり活動の推進を行い、多様な地域福祉活動や住民活動の活性化に努めた。
考察	第4次計画策定に向け協議が必要。令和3年度は、地域福祉活動計画の活動評価と社協発展強化計画の策定を連動して行っていくように調整が必要と考える。
実績	<p>≪第3次山武市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会≫</p> <p>【第1回】</p> <p>期 日 令和2年10月8日（木）</p> <p>場 所 山武市役所 第5会議室</p> <p>出 欠 出席9名</p> <p>内 容 (1) 第3次山武市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗評価について</p> <p>(2) 今年度のスケジュールについて</p> <p>(3) 山武市地域福祉活動推進助成事業について</p> <p>(4) その他</p>

### 2. 広報・啓発活動の強化

#### (1) 広報・啓発活動の実施

##### ①広報誌の発行

会 報 名	きずな
目的と概要	社協事業PR及び寄付、募金の報告などを掲載し市民へ情報発信した。
考 察	コロナ禍の影響により紙面を縮小したが、計画どおり発行することができた。
発行回数	4回（4月・7月・10月・1月）
発行部数	1回につき約15,600部
配 布 先	市内全世帯（新聞折込み）・市内公共機関等
印刷業者	三陽メディア株式会社（成田市）

##### ②ホームページの運営

更新回数	19回
目的と概要	社協事業に関する情報を広く発信した。
考 察	随時、更新することができた。

### ③第15回山武市社会福祉大会の実施

目的と概要	多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し感謝の意を表するため式典のみ実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、9月開催の理事会において中止の決定をした。	
考 察	コロナ禍において、一堂に会する式典を行うことは難しいと考える。受賞者へは、表彰状及び感謝状一式を郵送によりお届けし、感謝の意を表した。	
主 催	山武市・山武市社会福祉協議会	
期 日	令和2年11月19日（木）	
内 容	○表彰 山武市社会福祉協議会長表彰状贈呈	28名
	山武市社会福祉協議会感謝状贈呈	44名

## 3. 地域福祉の推進

### (1) 地域福祉活動の推進

#### ①地区社協活動の支援

目的と概要	小地域の地域福祉活動を推進するため市内14の地区に地区社会福祉協議会を設置し、市民の福祉の増進を図ることを目的に当該地区の実情に即した地域福祉活動の支援を行った。	
考 察	ここ数年、事業選択型の「一般事業」の内容を変更し、各地区社協の事業が具体的な目的を持ち活発になることを進めてきた。また、補助金を活用しやすいように補助基準の見直しを行ってきた。 今後は、地域の福祉課題を自主的に見つけられるような仕組み作りについて研修等を進めていきたい。	
設置数等	成東地域 5か所（成東地区・大富地区・南郷地区・鳴浜地区・緑海地区） 山武地域 4か所（睦岡地区・山武北地区・日向東地区・日向西地区） 蓮沼地域 2か所（蓮沼岡地区・蓮沼浜地区） 松尾地域 3か所（豊岡地区・松尾地区・大平地区） 合計 14か所	
実 績	≪地区社協連絡会≫ <b>【第1回】</b> 期 日 令和2年 9月28日（月） 場 所 成東老人福祉センター 大会議室 <b>【第2回】</b> 期 日 令和3年 2月19日（金） 場 所 成東老人福祉センター 大会議室	



②ふれあいいいききサロンの支援

目的と概要	子どもから高齢者が地域の中で楽しい仲間づくりを進めることにより、いきいきした活力や生きがいを得ることを目的として、ふれあいいいききサロン事業の推進を行った。
事業実績	年間4回以上の実施しているサロンへの補助金交付を行った。 市内32か所のサロン
考 察	対象者は高齢者が主となっているが、多世代交流になると望ましい。

③地域みまもりサービス事業の実施

目的と概要	月1回定期的に高齢者宅を訪問することで地域との交流を促進し、孤独感の解消を図るとともに安否の確認を行うことを目的に各地区で実施した。				
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、例年通り実施した。				
事業実績	ボランティア等の協力者によりお弁当や軽飲料等を、民生委員や福祉推進員が持参して訪問し、安否確認をした。				
	地域名	利用者数	実施回数	延べ利用者数	延べ訪問協力者数
	成東地域	1名	9回	9名	9名
	山武地域	16名	12回	172名	96名
	松尾地域	4名	12回	27名	17名
	合 計	21名	33回	208名	122名

④マイクロバスの貸出

目的と概要	地区社会福祉協議会や社会福祉団体等が実施する事業などへマイクロバスの貸出しを行った。													
考 察	コロナ禍の影響により、ほとんど貸出がなかった。													
実績	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	回数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

⑤物品の貸出

目的と概要	地域福祉活動（交流）を目的としたイベントなどを中心に物品貸出しを行った。			
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等の開催が少なかった。			
実績	<b>貸出総件数 12件（実数）</b>			
	※有料物品貸出内訳			
	物品名	貸出件数	物品名	貸出件数
	わたあめ製造機	1件	もちつき機	1件
	かき氷機（電動）	9件	天幕テント	1件
	発電機	1件	机（長テーブル）	1件
	臼・杵	1件	イス	1件
	※無料物品貸出内訳			
物品名	貸出件数	物品名	貸出件数	
輪投げ	2件			

## (2) 生活支援体制及び住民主体の支援活動の推進

### ①生活支援コーディネーターの設置

<p>目的と概要</p>	<p>地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進するために第1層（市域）生活支援コーディネーター1名（社協職員）を配置した。</p> <p>また、小域の地域活動を調査し、その活動支援と多様な活動者同志のつながり作りを行う第2層（小地域）の生活支援コーディネーター3名（市民）を配置した。</p>
<p>考 察</p>	<p>第1層生活支援コーディネーターは、年度の前半に市民が互いに助け合う活動として「手作りマスク」作成のしくみ作りと市との調整を行った。後半になりコロナ禍でも市民がつながる活動を模索し各事業を企画した。第2層生活支援コーディネーターの活動は、前半は市民活動の停滞でほとんど動けなかったが、後半には地域活動場所やボランティアグループを回り、徐々に活動支援や情報提供することができた。</p> <p>今後は更に地域活動の支援を行うと共に、情報を各関係機関へつなげる活動が必要と感じている。また、関係者とのつながりを強化したうえで地域課題を解決するための協議を進める目的でやさしいおもいでささえあおう会の運営を充実していく必要があると考える。</p>
<p>実 績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎高齢者を支援するためのサービスや活動を行う組織をつなげ、ネットワークを構築した。</li> <li>◎生活支援サービスや地域の担い手を養成、高齢者の生活を支援する新たなしくみづくりを行った。</li> <li>◎具体的なケース事例から地域の課題を把握し、協議体の活動につなげる会議へ参加した。</li> <li>◎市民が自ら健康維持と健康づくりのための運動を行うためのプログラムを様々な機会に周知した。</li> <li>◎第2層生活支援コーディネーターとして、通い・集い・交流する居場所づくりを行うボランティアグループ等の活動を支援するとともに必要な情報提供を行った。</li> </ul>

②地域の支え合い体制づくり

○やさしいおもいでささえあおう会（山武市地域包括支援センター運営協議会部会）の運営	
目的と概要	高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って安心して在宅生活を継続していくために、医師、地域の生活支援・介護予防サービスを担う施設や事業所、福祉関係団体、ボランティア活動団体等と連携し協議していく。
考 察	<p>◎マスクづくりについては、コロナ禍で急遽取り組んだ活動で、継続した事業にはならないが、市民同士の助け合いの意識づくりには寄与したと感じている。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの関係者が集う会議を開催することができなかつたため、今後、パソコンのインターネット環境を活用した会議を進められるようにネット環境に関する調査と ZOOM ソフトを使った会議の運営に関する研修会を新たに企画した。研修会は開催したものの、調査により各関係者のネット環境の違いが分かり誰もが無料で WEB 会議を行うことができないので検討する必要がある。</p> <p>◎認知症に関するイベントの支援は、地域包括支援センターの企画を支援しての活動となった。今後は、地域や市民と共同して認知症問題を考える企画を進める必要があると考える。</p> <p>◎通い・集い・交流の居場所運営費補助事業に関しては、新型コロナウイルスの感染症の影響を受けながらの活動で各グループ感染予防対策に苦慮していた。地域の方々の足腰が弱まったり、引きごもりがちになったりしているとの声が多く、今後は、コロナ禍でも地域の高齢者等が健康維持できるように対策し活動支援を続ける必要があると考える。</p> <p>◎新たなつながり作り推進プロジェクトについては、スマートフォンを活用した新しいつながり作りと自ら情報を収集できる能力の向上を目的としているが、スマートフォンを便利に活用するまでにはかなり時間がかかることが分かった。今後は自主的な勉強会のグループの立ち上げも考え支援していくことが必要と考える。また、スマートフォンの活用については市民の反応(要望)が大きく、他事業とも連携し市民ニーズに対応していく必要があると感じた。さらにスマートフォンの活用が広がれば市民への情報発信の方法、使えない方への対応も検討の必要があると考える。</p> <p>◎安心生活・終活相談会については、周知が足りないので強化の必要があると考えている。潜在的に市民が問題を持っているとは思いますが、放置している方も多いと感じる。早い段階で問題意識を持ち対策を取っておくことで様々な支援機関の負担軽減につながると考える。</p>

実 績	<p>◎お互い様の意識、地域づくりのための「手作りマスク」作成の支援として、高齢者や施設、学校、障がい者等へ配布するためのマスクを、市民の協力者を募り作成した。 市民活動者 延べ177人      製作マスク 5,140枚</p> <p>◎新型コロナウイルスの影響により大人数で集い、会議をすることができなかつたため、協議体関係者が新たなコミュニケーションの方法を学び、新たなつながりを推進するための研修会を2回開催した。 《リモート会議等運営者養成研修》 ※ZOOMを活用した会議の開催方法</p> <p>【第1回】 期 日 令和2年 9月 9日（水） 場 所 成東老人福祉センター 大会議室      7人参加</p> <p>【第2回】 期 日 令和2年 9月30日（水） 場 所 成東老人福祉センター 大会議室      6人参加</p> <p>◎「認知症問題への取組み」検討チームとして、市の『認知症啓発イベント』映画上映会の開催を支援した。 期 日 令和2年12月11日（金） ※昼、夜2回上映 場 所 成東文化会館のぎくプラザ ホール      153人参加</p> <p>◎通い・集い・交流の居場所運営費補助事業として、こころと体の健康づくりをすすめる団体に対し補助金の交付を行った。</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>月1回以上活動するグループ</td> <td>5グループ</td> <td>205,000円</td> </tr> <tr> <td>週1回以上活動するグループ</td> <td>4グループ</td> <td>545,000円</td> </tr> </table> <p>◎新たなつながり作り推進プロジェクトとして、コロナ禍での新しいコミュニケーションを広げることや災害時などに自ら情報を集めたりすることができる高齢者を増やすための講座を開催した。 《新たなつながり作り推進リーダー養成講座》 令和2年 9月～12月 9回講座      16人受講      13人卒業</p> <p>《初心者・中高年のためのスマホ講座》 令和2年10月～令和3年3月      6回講座      3会場で開催 成東会場      成東老人福祉センター 山武会場      さんぶの森あららぎ館 蓮沼会場      コミュニティカフェと一えむ      55人受講</p> <p>◎新たに設置した第2層生活支援コーディネーターの協力で高齢者や家族に対し老後の生活（生計・資産・相続など）や終活の問題に対する相談会を設置した。 《安心生活・終活相談会》 期 日 令和2年12月から設置（2・3月中止） 参加者 2人来談</p>	月1回以上活動するグループ	5グループ	205,000円	週1回以上活動するグループ	4グループ	545,000円
月1回以上活動するグループ	5グループ	205,000円					
週1回以上活動するグループ	4グループ	545,000円					

③担い手の知識・スキル向上の研修の実施と活動につなげるコーディネート

地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進するため人材育成の事業を行い、活動につなげるコーディネートを行った。	
名 称	福祉有償運送運転者講習会
目的と概要	高齢者の移動問題の支援につなげるため、社会福祉協議会で実施している福祉有償運送事業の担い手育成のための研修会を実施した。
考 察	令和2年度は、蓮沼むらづくり協議会と連携し蓮沼地区の世帯へ周知活動を行ったが、広域的に積極的な周知はできなかったため令和3年度は強化したい。
実 績	期日 2日間のコース 令和2年11月14日(土)～15日(日) 8人参加 場所 成東老人福祉センター 大会議室

④関係者間の情報共有及び連携・協働による取り組みの推進

○調整会議・研修会等への参加 ○市と筑波大学との協同事業（転倒骨折予防プロジェクト）への参画	
目的と概要	山武市の介護保険使用者の課題として転倒を起因とする介護認定者数が多いことが分かり、その課題解決に向けた仕組みづくりの企画を筑波大学と協同で進めることとなり企画に参画した。
考 察	市民と最も近いフィールドを持つ社会福祉協議会と連携しながら課題解決を進めたいとの要望により参画し進めているが、生活支援体制整備事業だけでなく社協全体の事業と連携し市民の健康づくり支援をすすめる必要があると考える。しかし、社協サイドの負担が大きくなるように調整する必要があると感じている。
実 績	◎企画や調整会議 複数回 ◎市民や集いの場の運営者が課題をとらえ考えるための「市民ワークショップ」を開催 期 日 令和3年 3月26日(金) 27人参加 場 所 成東文化会館のぎくプラザ 視聴覚室

⑤市民に向けた積極的な情報発信と周知活動

内 容	○社会福祉協議会報「きずな」へ生活支援体制整備事業の記事掲載 広報きずな ⇒ 令和2年春号、夏号、秋号、令和3年新年号 ・各世帯へは新聞折込による配布 ・市役所、公共施設、社協窓口などへ配置  ○市民の助け合いによる健康づくり活動が積極的に進むように、各資料の配布や広報活動を行った。 ・高齢者の安心生活情報紙 「いちご手帳」の配布 ・こころとからだの健康づくりリーダーブック配布 ・さんむ筋力アップトレーニングの配布 ・いきいきイチゴ体操ケーブルテレビ掲載
考 察	◎継続的に市社協広報紙で周知を進めていく。 ◎各冊子内容の更新と積極的な周知が必要。 ◎市民の認知度が低いので高めていく必要がある。

### (3) ボランティア・市民活動の推進

#### ① ボランティア・市民活動センターの運営

目的と概要	ボランティア・市民活動に関する理解と関心を深め、ボランティア活動者・市民活動者との協働・連携及び支援を図ることにより、地域福祉を推進することを目的に山武市ボランティア・市民活動センターを設置・運営している。
考 察	本年度は新型コロナウイルスの影響により、目的に対する活動はできなかったが、登録者数は前年度より増加しており、今後も活動は期待できると考える。
登録状況	ボランティアグループ 98グループ 1, 310名 (前年: 101G1, 309名) 個人ボランティア 202名 (前年: 191名) 全社協ボランティア保険加入者 79名 (前年: (災害支援等) 296名) 合計 1, 591名 (前年: 1, 796名)
P R 活動	①ボランティア・市民活動センター情報誌「きらめき通信」を毎月発行し、登録ボランティア及び一般市民、関係機関等に配布。 【第161号～172号発行済み: 各3, 500部発行】
	②ボランティア・市民活動センター専用HP・ブログの開設 (活動PR、登録支援、活動グループ紹介、災害支援等の情報提供)

#### ② ボランティア・市民活動講座の開催

名 称	1. 福祉施設等のボランティア受入れ連携・連絡会議
目的と概要	福祉施設とボランティア・市民活動センターが相互に連携し、勉強会や情報交換を行うことで、施設でのボランティア活動の促進と登録ボランティアの活動充実を図ることを目的に開催した。
考 察	新型コロナウイルスの影響によりボランティア受け入れを実施できなかった施設が多かったが、入所者の日常を少しでも生き生きとしたものにしたいと考える施設担当者の気持ちは強く、1日でも早く、事態が収束したときにはボランティアに訪問してほしいという意見が多く聞かれた。
日 時	令和2年7月30日 (木) 13:30～15:30
場 所	成東文老人福祉センター 大会議室
参加者	山武市内の社会福祉施設・サービス事業所等のボランティア受入れ担当者や関係職員など12名
内 容	新型コロナウイルスの影響下による各施設におけるボランティア受け入れ状況について報告し、今後の対策について話し合った。

名 称	2. ボランティアスマホカフェ
目的と概要	コロナ禍において、ボランティア同士のつながりを維持するため、「スマートフォン」を効果的に活用し、ボランティア活動の活性化を図ることを目的として開催した。
考 察	初心者の方には好評だった。年度内に数回行う予定だったが、緊急事態宣言により1回しか開催できなかった。今後も続けていきたい。
日 時	令和2年12月18日（金）10：00～12：00
場 所	さんぶの森交流センターあららぎ館 市民交流サロン
参加者	山武市内のボランティア連絡協議会に登録するボランティアなど5名
内 容	ボランティア連絡協議会との共催。インターネットとアプリの活用について、NPO法人山武IT推進協会の方を講師に招き講義と実践を行った。

名 称	3. コロナ禍における福祉体験学習実施検討会議
目的と概要	コロナ禍において、ボランティアの安全に考慮した福祉体験学習（聴覚）の進め方について確認するため開催した。
考 察	新型コロナウイルスへの警戒心が強く、身の危険を感じるとして、聴覚障害者協会としては事態が収束するまでは協力できないとのことだった。今後しばらくの間は状況を見据え、必要に応じて動画教材による対応等も検討していきたい。
日 時	令和2年10月13日（火） 18：00～19：00
場 所	成東中央公民館 第1会議室
参加者	山武郡市聴覚障害者協会3名、通訳2名、職員2名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における近況報告</li> <li>・福祉教育とは</li> <li>・コロナ禍における福祉体験再開の検討について</li> <li>・今後のに向けた学習内容の検討について</li> </ul>

### ③おもちゃ図書館事業の実施

目的と概要	遊びを通して、ハンディキャップのある子どもを中心に、子どもたちの心身の発達を促すこと、並びに、保護者同士や親子と地域との情報交換・交流を図り、地域ぐるみの子育てを推進することを目的に、ボランティアの運営協力のもと、市内3ヶ所でおもちゃ図書館事業を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により実施できなかった。
考 察	今後は貸出業務だけでも実施できないか検討中。担当者が県連絡会の役員となり、県内各事業所の情報交換を行っている。



#### (4) 福祉教育の推進

##### ①福祉教育活動費の助成

目的と概要	学校の児童・生徒と地域が密接に関わることで、自らすすんで地域活動に参加する市民として育てられることを目標に、市内の小・中学校に対し福祉教育推進に係る補助金を交付した。		
考 察	目的に向け有効に活用されている。コロナウイルス感染症予防のため活動自粛傾向にあった。		
実 績	【助成実績】		
	学校名	蓮沼小学校 緑海小学校 鳴浜小学校 睦岡小学校	各 校 30,000 円
	合 計	4 校 (前年：8 校 240,000 円)	120,000 円

##### ②ボランティア活動に関する機器材の貸出

貸出物品名	回数	延べ品数	備 考
放送用具一式	1	1	ボランティアグループオハナ
点字版	2	2 9	点字グループひまわり
車いす	1	6	大平小学校
高齢者（障害者）疑似体験セット	3	2 1	横芝光町社会福祉協議会、大平小学校 エクセルシオール山武

③福祉教育の推進・学校等への協力

【福祉体験学習への協力 3校 3回実施（昨年度：10校 16回実施）】

1. 日向小学校	
日 時	令和2年11月5日（木）10：20～12：00
場 所	日向小学校（教室・学習ルーム）
対象者	4学年児童 1クラス34名
協力者	視覚障がい者2名、点字ボランティア4名
内 容	視覚障がい者のお話、ブラインドウォーク、点字学習

2. 緑海小学校	
日 時	令和2年11月12日（木）10：30～12：10
場 所	緑海小学校（教室）
対象者	3学年児童 1クラス20名、4学年児童 1クラス29名
協力者	視覚障がい者2名、点字ボランティア4名
内 容	視覚障がい者のお話、ブラインドウォーク、点字学習

3. 南郷小学校	
日 時	令和2年11月20日（金）9：35～11：20
場 所	南郷小学校（体育館）
対象者	4学年児童 1クラス46名
協力者	福祉体験学習サポーター1名
内 容	車いす体験学習、高齢者疑似体験学習

【成東地区福祉教育推進連絡会の支援】

1. 成東地区福祉教育推進連絡会（会議）	
目的及び概要	新型コロナウイルスの影響により文書伝達方式により実施した。
内 容	令和元年度事業・決算報告について

## 4. 在宅福祉の推進

### (1) 住民参加型在宅福祉サービス事業の推進

#### ①福祉輸送サービス事業の実施

目的と概要	市民の参加と協力により、公共交通機関の単独での利用が困難な移動困難者(介護保険認定者、身体障害手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳所持者等)に対して外出支援を行うサービスを提供した。					
考察	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に努め事業を実施した。利用会員に、緊急事態宣言発令中は必要最低限の利用のお願いを求めた。</p> <p>例年開催している協力会員研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。</p> <p>運転者講習会を市内で開催したことにより、協力会員の確保につながったが、定年による退会者も多かった。予約に対応できるよう協力会員の確保に努めていく。</p>					
実績	会員数					
	地域	成東地域	山武地域	蓮沼地域	松尾地域	計
	利用会員	67	52	25	33	177
	協力会員	16	7	7	6	36
	活動実績					
地域	成東地域	山武地域	蓮沼地域	松尾地域	計	
延べ活動回数	1,726	1,457	524	444	4,151	

#### 【福祉有償運送運転者講習及び福祉有償運送セダン等運転者講習会】

期 日	令和2年11月14日(土)～15日(日)	修了者	8名
場 所	成東老人福祉センター		
主 催	やさしいおもいでささえあおう会 山武市社会福祉協議会		

②住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業の実施

目的と概要	市民の参加と協力により、支援を必要とする方に対して、日常生活支援（買物や手続きの代行・住居の掃除・食事の支度・見守りや話し相手・外出付添い等）を行うサービスを提供した。					
考 察	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に努め事業を実施した。利用会員に、緊急事態宣言発令中は、必要最低限の利用のお願いを求めた。</p> <p>例年開催している協力会員研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。</p> <p>予約に対応できるよう協力会員の確保に努めていく。</p>					
実績	会員数					
	地 域	成東地域	山武地域	蓮沼地域	松尾地域	計
	利用会員	30	21	6	6	63
	協力会員	11	9	4	4	28
	活動実績					
地 域	成東地域	山武地域	蓮沼地域	松尾地域	計	
延べ活動回数	351	123	11	10	495	

## (2) 介護保険・障害者総合支援事業の推進

### ①訪問介護員派遣事業（介護保険制度）の実施

目的と概要	介護予防日常生活支援総合事業の「訪問型サービスA」事業者として、主に要支援高齢者を対象に生活援助等のサービスを提供した。							
考 察	前年度と比較して延べ利用者は20名、訪問件数は79件増加した。							
実 績	1. 利用者 7名 2. サービス提供月別延べ件数							
	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	(利用者数)	(6)	(5)	(6)	(6)	(6)	(5)	(6)
	訪問件数	25	22	28	25	26	25	33
	区 分	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
	(利用者数)	(6)	(6)	(6)	(7)	(7)	(72)	
	訪問件数	30	26	35	35	29	339	

### ②地域生活支援事業（移動支援）の実施

目的と概要	市からの委託により、障害福祉サービス介護給付費支給決定を受けた心身障害者（児）等に対し、移動支援等のホームヘルプサービスを提供した。							
考 察	利用者数に変化なし。4月～8月は支援件数が少ない月があるが、新型コロナ予防のため、外出を控えた数値。							
実 績	1. 契約利用者数 1名 2. 月別延べ件数							
	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	(利用者数)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
	移動支援	8	14	16	12	11	15	14
	区 分	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
	(利用者数)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(12)	
	移動支援	12	13	13	13	15	156	

## 5. 総合的な相談、援助活動の推進

### (1) 心配ごと相談事業の推進

#### ①心配ごと相談事業・法律相談事業の実施

目的と概要	住民の日常生活上のあらゆる悩みを持つ者に対して積極的に相談に応じ、問題解決に向け助言や援助指導を行うことを目的に、相談所を開設した。 <b>【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した回数】</b> <b>一般相談 4～6月, 1～3月 28回</b> <b>法律相談 1・2月 8回</b>					
区分	日数等	成東地域	山武地域	蓮沼地域	松尾地域	年間実績
一般相談	開設日数（日）	6	12	4	6	28
	相談件数（件）	2	6	3	7	18
法律相談	開設日数（日）	9	10	10	10	39
	相談件数（件）	53	54	38	39	184

#### 《 1. 相談内容の傾向 》

一般相談	第1位：家族	第2位：その他
法律相談	第1位：財産	第2位：人権、家族

(2) 各種資金の貸付等

①福祉資金の貸付

目的と概要	低所得世帯に対し、生活意欲の高揚と自立更生の推進を目的に、生活つなぎ資金その他必要な緊急援護費として貸付を実施した。					
考 察	生活保護決定となるまでの期間のつなぎ資金的支援は必要である。					
貸付実績	<b>【貸付状況】</b>					
		貸付件数	貸付額	償還済額	未償還件数	残高
	今年度新規	13 件	288,129 円	195,129 円	4 件	93,000 円
	前年度以前	56 件	2,493,300 円	13,000 円	56 件	2,480,300 円
	合計	69 件	2,781,429 円	208,129 円	60 件	2,573,300 円
※貸付申請 15 件のうち 2 件申請取下げ ※前年度以前の貸付件数及び貸付額は 4 月 1 日付未償還分を記載						

②生活福祉資金の貸付

目的と概要	低所得世帯や障がい者・高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより経済的自立・生活意欲の助長促進や在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした貸付制度。千葉県社会福祉協議会からの受託事業として実施した。				
考 察	新型コロナウイルス感染症の影響で特例貸付の件数が増大し、職員がシフトを組み対応している。特例貸付の業務を、通常業務を行いながら実施するのは大変な状況である。				
貸付実績	<b>【県社協生活福祉資金 特例貸付状況】</b>				
		貸付種類	貸付件数	貸付額	
		緊急小口資金	464 件	90,496,000 円	
		総合支援資金	292 件	171,967,000 円	
		再貸付	54 件	28,530,000 円	
	<b>【県社協生活福祉資金 通常貸付状況】</b>				
		貸付種類	貸付件数	貸付額	
	教育支援資金	3 件	2,702,800 円		
	緊急小口資金	2 件	200,000 円		
	福祉資金（転宅費）	1 件	250,000 円		

### (3) 福祉サービス利用援助事業の推進

#### ①日常生活自立支援事業の実施

目的と概要	日常生活を送る上で、十分な判断ができない方や、身体の不自由な方が地域で安心して生活できるように支援することを目的とした日常生活自立支援事業（千葉県後見支援センター事業業務）を千葉県社会福祉協議会から受託し、福祉サービス利用援助・財産管理サービス・財産保全サービスを実施した。
考 察	相談も増加傾向にあり利用者の金銭管理問題が複雑化しており解決に向けて時間が必要になってきている。生活支援員も不足しているので募集の周知を図りたい。

#### 【利用者・生活支援員】

利用者	新規契約数	16ケース	
	解 約 数	7ケース	
	その他移管数	0ケース	
	年度末現在契約数	55ケース	
生活支援員	現 任 数	16名	
	登 録 数	1名	

#### 【実績】

	高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
契約数 (前年度まで)	104	14	33	5	156
今年度 契約数	12	3	1	0	16
合計	116	17	34	5	172



【内容別契約者数】

	新規契約者 総数 (生保者数)	契約解除者数 (生保者数)	移管者数 (生保者数)	年度末現在 契約数 (生保者数)	サービス種類 (※1)					
					福祉	財産管理			財産 保全	
						あり	なし	社協		個人
R2.3 まで 契 約 数	156 (52)	62 (22)	49 (18)							
今 年 度 契 約 数	16 (4)	7 (3)	0 (0)	55 (17)	55	51	4	44	7	5
合 計	172 (56)	69 (25)	49 (18)	55 (17)						

サービス種類説明 (※1)

- 福祉：福祉サービス利用援助… 55名
- 財産管理：財産管理サービス…………… 51名
  - あり：代理権あり
  - なし：代理権なし
  - 社協：通帳社協管理
  - 個人：通帳個人管理
- 財産保全：財産保全サービス…………… 5名

【相談内容別人数等内訳】

		高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	計
1	福祉サービスの手続き等	1			1	2
2	日常的な金銭の管理等	31	1	8	7	47
3	書類等の預かり・財産保全	1				1
4	保健サービスの手続き等					
5	医療に関する事項					
6	福祉サービスに関する苦情等					
7	今後の生活設計等				1	1
8	本事業等に関する単なる問合せ				1	1
9	成年後見制度に関すること	12	4	3	2	21
10	虐待等に関すること等					
11	その他	1			1	2
合 計		46	5	11	13	75

【相談・訪問調査等の回数】

		高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	計
相談・訪問調査等延べ回数		226	38	49	53	366
訪問調査 のみ	訪問実人数	66				
	契約前訪問延べ回数	96				

【研修等の開催・参加】

○千葉県後見支援センター主催研修

期 日	名 称	場 所	出席者
3月18日(木)	日常生活自立支援事業連絡会議	成東老人福祉センター (リモート開催)	専門員2名

○さんむ成年後見支援センター主催研修

期 日	名 称	場 所	参加者
3月29日(月) ～31日(水)	生活支援員連絡会議 (個別開催)	成東老人福祉センター 及び各連絡所	16名

【契約締結審査会（審査会場：千葉県社会福祉センター 毎月第3火曜日 18:30～）】

審査月	実施日	回数	審査内容（上程／単位：ケース）					支援計画 ※除審査会	出席者 （電話による）
			新規	新 規 事務局 審 査	評価	解約	支援計画		
4月	21日	242		2	1				
5月	19日	243			1	1			
6月	16日	244	1	1	5	1			専門員1名
7月	21日	245	1	1	5	2			専門員1名
8月	20日	246			2				
9月	19日	247		2	4				
10月	20日	248	1	1	5	1		47	専門員1名
11月	17日	249			3				
12月	15日	250	3		5	2			専門員1名
1月	19日	251	1	1	2				書面審査
2月	16日	252	1		3				書面審査
3月	16日	253	1		3				書面審査
年間計			9	8	39	7	0	47	

※ 審査会不承認、審査通過後辞退及び死亡により当年度契約数等とは一致しません。

【地域会議及び担当者会議（全5回）】

期 日	場 所	人数	出席者
6月16日（火）	山武市役所	8	本人・成年後見人・ケアマネ・市役所保健師・市役所障がい係・雇用主・介護事業所・専門員
9月 9日（水）	浅井病院	6	相談員2名・医師2名・ケアマネ・専門員
9月18日（金）	本人宅	8	本人・子2名・ケアマネ・福祉用具担当者・介護事業所・訪問看護事業所・専門員
12月23日（水）	山武市役所	9	親族2名・地域包括3名・ケアマネ・介護事業所・専門員2名
3月26日（金）	本人宅	6	本人・子・介護事業所・ケアマネ・専門員2名

【事業説明等】

期 日	名 称	内 容	出席者
6月19日（金）	シェアハウス むすびの家へ訪問	センターの役割・成年後見・日常生活自立支援事業について	むすびの家 居住者
3月12日（金）	山武市ゴールドクラブ 連合会役員会	センターの役割・成年後見・日常生活自立支援事業について	ゴールドクラブ 役員

【啓発活動】

期 日	名称等	備 考
通年	山武市社会福祉協議会ホームページ	センター概要等の掲載
7月 1日（水）	広報紙「きずな57号（夏号）」	生活支援員募集掲載
10月 1日（木）	広報紙「きずな58号（秋号）」	制度の説明掲載
3月26日（金）	蓮沼地区社会福祉協議会会議	パンフレットの配布

(4) 日常生活支援事業の推進

①有料配食サービス事業の実施

目的と概要	日常生活に支障のある市内に居住するひとり暮らし高齢者、高齢者世帯及び心身障がい者を対象とし、生活状態や健康状況、経済状態等を考慮し、食生活の確保、改善を通して健康保持を図り、在宅生活を支えることを目的として実施した。				
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、委託業者、配達ボランティアと連絡調整を行い実施した。				
実 績	各地域の事業者へ弁当の製造と配達を依頼し、対象者への支援活動を実施した。【※蓮沼地域（火曜日）及び松尾地域はボランティアが配達】				
	地域	登録利用者数	延べ利用者数	延べ配食数 (内補助有)	委託業者
	成東	13名	153名	927食 (897食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みっちゃんのなおや</li> <li>・まごころ弁当山武店</li> </ul>
	山武	23名	220名	1,439食 (1,299食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明朗塾</li> </ul>
	蓮沼	8名	70名	516食 (450食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みっちゃんのなおや</li> <li>・まごころ弁当山武店</li> </ul>
	松尾	3名	49名	326食 (326食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みっちゃんのなおや</li> <li>・油屋トトズキッチン</li> </ul>
	合計	47名	492名	3,208食 (2,972食)	

### ②福祉カー貸付事業の実施

目的と概要	心身障がい者及び高齢者の社会参加を促進し、福祉の向上を図ることを目的に貸出しを行った。				
考 察	新型コロナウイルス感染拡大により貸出件数は減少した。 車両の消毒、清掃を行い、新型コロナウイルス感染防止を図った。				
実 績	車両名		一般貸出	福祉輸送	合計
			件数	件数	件数
	ゆうあい成東号 (キャラバン)		13	64	77
	ゆうあい山武号 (キャラバン)		30	14	44
	ゆうあい蓮沼号 (キューブ)		12	94	106
	ゆうあい松尾号 (キャラバン)		18	21	39
	福祉 車両	エブリイ (事務局)	55	43	98
		N-BOX (松尾連絡所)	15	49	64
	介護 車両	ワゴンR (山武連絡所)	6	156	162
		ムーブ (蓮沼連絡所)	0	158	158
合計		149	599	748	

### ③福祉用具等貸出事業の実施

目的と概要	低所得世帯や介護保険非該当者等に福祉用具を貸出し在宅介護及び生活を側面的に支援し福祉サービスの向上を図ることを目的に貸出しを行った。		
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、用具貸出時に消毒等を行い貸出をしたが、利用者に再度、消毒等の依頼をした。		
実 績	福祉用具名	貸出件数	延べ利用数
	車椅子	60件	61台
	介護ベッド	0件	0台
	エアーマット	0件	0台
	チャイルドシート	3件	3台

#### ④介護者リフレッシュ事業の実施

目的と概要	家族の介護をされている介護者等を対象に、介護に関する相談会、交流会を行うことにより身心のリフレッシュを図ることを目的に実施した。
考 察	新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少した。
期 日	3月25日(木)
会 場	さんぶの森文化ホール
参加者	参加者22名 事務局3名
内 容	音楽鑑賞・参加者コロナ禍における近況報告・相談会

#### ⑤おとこの料理教室事業の実施

目的と概要	料理(調理)の知識や経験の少ない男性(概ね60歳以上)を対象に基本的な指導を行い、自身の食生活自立及び家族の健康を保つ一助とする。また、教室参加を通じて仲間作りや親睦を図ることを目的に実施した。			
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各調理室の使用人数の制限があり参加人数を半数にして実施をした。 飲食をせず、調理品を持ち帰りとしたが、季節により食中毒の心配がある。			
事業実績	会場	場 所	会員人数	参加延べ人数
	成東	成東保健福祉センター栄養指導室	19名	14名(2回)
	山武	さんぶの森中央会館調理実習室	16名	16名(3回)
	蓮沼	蓮沼交流センター調理実習室	16名	中止
	松尾	松尾IT保健福祉センター調理室	17名	21名(4回)
	合 計		68名	51名

#### (5) 災害当事者への見舞金の交付

##### ①交通遺児援護基金による見舞金等の交付

目的と概要	交通遺児を援護・激励することを目的として千葉県社会福祉協議会が千葉県から寄託された基金及び県民や企業団体からの寄付金を原資として、勉学奨励金等の贈呈を行った。
事業実績	中学校卒業勉学奨励金 2名 高等学校受験費用助成金 2名

##### ②社協災害見舞金・共同募金会災害見舞金・赤十字災害救援見舞金、物資の交付

目的と概要	火災、風水害及び地震その他自然災害による被災者で援護を必要とする者を救済する。(社協災害見舞金・共同募金会災害見舞金・赤十字災害救援見舞金各規程に基づく)
事業実績	全焼2件(市社協50,000円、共同募金20,000円、赤十字10,000円及び物資) 令和元年度台風15号・台風19号・10月25日大雨千葉県災害による見舞金 (全壊11件、半壊21件、床上浸水28件 合計355,000円)

(6) 生活支援活動への取り組み

①生活困窮者自立支援制度事業の実施

【相談実績】

目的と概要	何らかの理由により生活に困窮し、生活を維持することができなくなるおそれのある生活困窮者に対し、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施し、その者の社会的経済的自立に資することを目的として実施した。																																																																																																																								
考 察	新型コロナウイルスの影響により、新規相談件数が昨年度を大きく上回り、継続ケースからの相談も増加。貸付制度の利用にあたり自立相談による支援決定が条件になる等、コロナ禍が長期化することで更なる相談数の増加が予想される。																																																																																																																								
実 績	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">月</th> <th rowspan="2">新規 相談</th> <th rowspan="2">延べ相談 対応件数 (前年度からの継続 ケース含む)</th> <th colspan="2">プラン</th> <th rowspan="2">モニタ リング</th> <th rowspan="2">評価</th> <th rowspan="2">住居確保 給付金</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>再</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>43</td><td>195</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>5</td><td>42</td><td>198</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12</td></tr> <tr><td>6</td><td>28</td><td>220</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>20</td><td>237</td><td>5</td><td></td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>8</td><td>22</td><td>177</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>9</td><td>19</td><td>173</td><td>2</td><td></td><td>5</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>10</td><td>34</td><td>225</td><td>3</td><td></td><td>6</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>11</td><td>23</td><td>182</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>21</td><td>190</td><td>2</td><td>1</td><td>9</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>26</td><td>193</td><td></td><td></td><td>12</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>28</td><td>174</td><td>4</td><td></td><td>12</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>36</td><td>168</td><td>3</td><td>1</td><td>13</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>342</td><td>2,332</td><td colspan="2">21</td><td>60</td><td>4</td><td>30</td></tr> </tbody> </table>	月	新規 相談	延べ相談 対応件数 (前年度からの継続 ケース含む)	プラン		モニタ リング	評価	住居確保 給付金	新規	再	4	43	195					3	5	42	198					12	6	28	220					6	7	20	237	5		3		3	8	22	177					2	9	19	173	2		5	2	2	10	34	225	3		6		1	11	23	182						12	21	190	2	1	9	1		1	26	193			12			2	28	174	4		12			3	36	168	3	1	13	1	1	合計	342	2,332	21		60	4	30						
	月				新規 相談	延べ相談 対応件数 (前年度からの継続 ケース含む)				プラン		モニタ リング	評価	住居確保 給付金																																																																																																											
		新規	再																																																																																																																						
	4	43	195					3																																																																																																																	
	5	42	198					12																																																																																																																	
	6	28	220					6																																																																																																																	
	7	20	237	5		3		3																																																																																																																	
	8	22	177					2																																																																																																																	
	9	19	173	2		5	2	2																																																																																																																	
	10	34	225	3		6		1																																																																																																																	
	11	23	182																																																																																																																						
	12	21	190	2	1	9	1																																																																																																																		
	1	26	193			12																																																																																																																			
	2	28	174	4		12																																																																																																																			
	3	36	168	3	1	13	1	1																																																																																																																	
合計	342	2,332	21		60	4	30																																																																																																																		



## 実績

## 【新規相談種別】

相談内容	主相談	その他	合計
① 病気や健康、障害のこと	12	62	74
② 住まいについて	20	27	47
③ 収入・生活費のこと	235	49	284
④ 家賃やローンの支払いのこと	35	52	87
⑤ 税金や公共料金等の支払いのこと	5	39	44
⑥ 債務について	5	9	14
⑦ 仕事探し、就職について	10	56	66
⑧ 仕事上の不安やトラブル	3	10	13
⑨ 地域との関係について	0	0	0
⑩ 家族との関係について	2	13	15
⑪ 子育てのこと	0	5	5
⑫ 介護のこと	4	9	13
⑬ ひきこもり・不登校	3	3	6
⑭ DV・虐待	0	2	2
⑮ 食べるものがない	3	17	20
⑯ その他	5	6	11
合計（相談者の抱える悩みの数）			701

## 《相談内容の傾向》

主相談 第1位：収入・生活費のこと  
 第2位：家賃やローンの支払いのこと  
 第3位：住まいについて

本年度の支援によって見られた変化（前年度までのケース含む）

生活面	生活保護の適用	39	生活習慣の改善	1
	住まいの確保、安定	40	孤立解消	15
	医療機関の診断開始	7	精神安定	116
	健康状態の改善	2	債務の整理	2
	障害手帳の取得	0	家計の改善	20
	自立意欲向上・改善	39	就労収入増加	21
	対人・家族関係の改善	4		
社会面	職場定着	5	就職活動開始	55
	一般就労開始(目的が継続的な就労。障害者雇用含む)	28	職業訓練の開始、就学	2
	障害者サービス活用(就労継続B型、就労移行支援等)	1	社会参加機会の増加	10
他	その他	134		

【終了理由内訳】

	前年度からの 継続ケース	2年度新規 受付ケース
解決	13	5
情報提供のみ	0	0
他機関にて対応	24	40
音信普通	7	0
その他 (転出、死亡、支援辞退等)	46	12
終了件数合計	90	57
	147	

前年度からの 継続ケース数(A)	前年度からの 継続ケースの内 2年度終了数(B)	2年度新規受付分 繰越ケース数(C)	次年度への繰越 ケース数 (A)-(B)+(C)
351	90	285	546

【支援調整会議】

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり支援及びその計画が適切なものであるか確認を行うとともに、関係機関及び関係者等の役割について調整を行うことを目的に開催した。
考 察	各関係機関が出席、活発な意見交換が行われている。令和2年度はコロナウイルスの影響により例年よりも開催数が減少。原則毎月1回の開催を目指しており、多職種連携の構築や、情報共有の場としても有効である。
場 所	山武市役所本庁内会議室
参加者	社協事務局長、社会福祉課長、社会福祉係、保護係、障がい福祉係、包括支援センター、子育て支援課、健康支援課、相談員2名
実 績	全7回

【会議・研修会等への参加】

会 議 等	<p>○令和2年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会 ※コロナウイルス感染防止のため書面議決 内 容 ・山武圏域における共通課題の検討及び社会資源の情報共有と多分野多機関との連携構築 ・生活困窮者自立支援制度担当者の人材育成 ・山武圏域における生活困窮者自立支援制度の円滑な運用の検討 ・任意事業における連携と検討</p> <p>○令和2年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会事務局会議 【全3回】 ※ ZOOMにて開催 内 容 ・社会資源や制度の情報提供を重点事項として実施 ・生活困窮者自立支援制度担当者の人材育成等</p>
考 察	近隣の求人や社会資源等、生活困窮者自立支援機関同士の情報共有の場として有効である。

研修会等	<p>○新たなつながり作り推進プロジェクト リモート会議等運営者研修会 ○「外国人関係機関との懇談会」※ ZOOMにて開催</p>
------	---

その他	<p>《就労準備訓練（独自実施）》（2名参加） 期 日：令和2年11月26日（木）、27日（金） 場 所：山武福祉センター相談室 内 容：カレンダー、ポスターの袋詰め作業 協力者：中央労働金庫成東支店</p>
考 察	ひきこもり当事者等の成功体験づくりとして有効である。今後は新たな訓練メニューの開発と、協力者の確保を進めたい。

その他	<p>&lt;社会資源の発掘・開拓等&gt;          地元農家へ短期就労体験の協力依頼。(1名就労開始)</p>
考 察	<p>令和2年度はコロナウイルスの影響により積極的な職場開拓に取り組めなかった。生活困窮者向けの職場確保は重要であるため次年度も積極的に取り組みたい。</p>
実 績	<p>&lt;ひきこもり対策&gt;          「社会参加することに課題を抱え、生活のしづらさを感じている人への支援を通じ、ひきこもり者が地域に出て社会参加できる機会を作る」ことを目的とした「誰もが住みやすい地域づくり～ひきこもり当事者及び家族支援活動～」への事業協力を行った。</p> <p>○ひきこもり家族の集い in さんむ 【全2回】          期 日：令和2年10月29日(木)、12月24日(木)          場 所：成東老人福祉センター          対象者：ひきこもりの家族を抱えた方、支援者          参加者：28名          内 容：オープンダイアログを活用した、ひきこもり家族同士互いの気持ちを出せる場所づくり。</p> <p>○心のいずみ 【全2回】          期 日：令和2年9月24日(木)、11月26日(木)          場 所：成東老人福祉センター          対象者：ひきこもりがちな方、不登校な方、外出が苦手な方          参加者：18名          内 容：オープンダイアログを活用した、当事者同士互いの気持ちを出せる場所づくり。</p>
考 察	<p>NPO法人リンクと合同開催することで、より質の高い支援活動を実施、社会資源としての定着を目指す。対象者には支援者から直接チラシを手渡す等、参加者増に努めた。今後の目標としてはひきこもりサポーターを養成、常設型の居場所(ひきこもりカフェ等)を設置するとともに、支える人材確保を目指したい。</p>

②成年後見事業の実施

【相談件数】

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
件数	32	5	8	7	52

【成年後見に関する研修及び会議等参加】

期日	名称	場所	出席者
7月8日(水)	情報提供打合せ (大網白里市社協職員へ)	成東老人福祉センター	係長 専門員
10月8日(木)	山武市地域活動計画策定 委員会	山武市役所	センター長 専門員
10月19日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
10月29日(木)	山武市成年後見支援会議	山武市役所	センター長 専門員
11月16日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員
12月22日(火)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員
1月12日(火)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	書面開催	専門員
2月8日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	書面開催	専門員
2月19日(金)	千葉家庭裁判所家事関係機関 との連絡会議	書面開催	専門員
3月16日(火)	山武市成年後見支援会議	山武市役所 (リモート会議)	専門員2名

【市民後見人の活動の推進に関する啓発活動（パンフレット配布及び事業説明）】

期 日	名 称	場 所
4月 1日（水）	広報誌「きずな」へ掲載	市内全域
6月19日（金）	シェアハウスむすびの家へ訪問	むすびの家
3月12日（金）	山武市ゴールドクラブ連絡会役員会	成東老人福祉センター
3月26日（金）	蓮沼地区社会福祉協議会会議	蓮沼出張所

【法人後見の受任】

目的と概要	家庭裁判所の審判に基づき、当社協が法人として成年後見人となり支援を行う。
考 察	今年度、新規の受任はなかったが、法人後見の相談は数件あったことから需要は増えてくると思われる。

【実績】

	類 型		
	補助	補佐	後見
受任数 (前年度まで)	0件	0件	7件 (終了1件)
今年度 受任数	0件	0件	0件 (終了1件)
年度未合計	0件	0件	5件

## 6. 災害時における支援体制の整備

### (1) 災害対策と災害当事者への支援事業の実施

#### ①災害時協力ボランティアの登録

目的と概要	災害時に地域の情報をいち早く収集・発信し、地域住民がお互いに助け合うことを推進するため、任意で市民に登録していただく活動を行っている。
考 察	継続して行っていく
事業内容	<p>☆災害支援ボランティア講座の時に登録呼びかけ</p> <p>☆活動1 情報提供・発信ボランティア登録 ⇒ 災害や大規模事故などの時に、自分の周囲の状況やボランティア活動につながる情報を報告していただく活動及び、ボラセンからの情報を周知していただく活動</p> <p>☆活動2 災害時支援活動ボランティア登録 ⇒ 災害や大規模事故などの時に、自分の体力や技能（調理・通訳・看護・保育などを含む）を活かし、現場で支援していただく活動</p>

#### ②防災かるた作成実行委員会の開催

目的と概要	災害ボランティアを中心に防災かるた実行委員会を立ち上げ、多くの市民に参加、関わりも持ってもらい防災意識の啓発や浸透を促すことを目的とした「防災かるた」の作成を進めている。
考 察	試作品が完成した。今後量産し、各地域でカルタを活用し、広報活動を行う予定。
日 時	①令和2年11月16日（月） 13:30～16:00 ②令和2年11月27日（金） 13:00～15:30
場 所	①山武福祉センター ②山武市役所
参加者	災害支援ボランティア活動者 延べ12名
内 容	・防災かるた読み札の選定について ・防災かるた絵札の選定について 他

#### ③災害時における支援体制の整備

目的と概要	山武市防災担当課と情報交換会議を開催し、今後災害発生時には互いに連携を行う取り決めについて話し合いを重ね有事対応に備える。
考 察	近年の災害時における相互の対応状況について確認し合い、当時の反省点も踏まえて、互いの役割と必要性について確認した。今後連携し、より効率的に被災者支援を行うための施策を検討していく。
日 時	①令和2年12月 8日（火） 13:30～15:30 ②令和2年12月23日（水） 13:30～15:30 ③令和3年 2月25日（木） 13:30～16:00
場 所	①山武福祉センター ②山武市役所 ③山武市役所
参加者	山武市役所防災担当者及び社協職員 延べ18人
内 容	・災害時における防災対策本部と災害ボランティアセンターの連携について ・要支援者名簿作成について（安否確認担当分け等） 他

## 7. 指定管理者制度施設の経営

### (1) 山武市福祉作業所の経営

目的と概要	心身・精神障がい者を対象に、作業訓練並びに生活訓練を通して、日常生活の充実と就労に関する支援を含めた社会的自立に向けての援助サービスを提供した。
在籍者	34名（成東10名・山武9名・松尾15名）
延出席者数	5,112名（成東1,565名 山武1,286名 松尾2,261名）
開所日数	238日 【コロナ対応：利用自粛要請期間 4月15日（水）～5月29日（金）】
職員体制	管理者 1名（社協事務局職員が兼務） サービス管理責任者 1名（作業所常勤職員より選出） 常勤職員 3名（サービス管理責任者を除く） 臨時職員等 10名（常勤4名・非常勤6名）

#### ①成東福祉作業所

実施月日	行事名称	行事等の内容	備考
4	1	年度始め	
	3	新入所員歓迎会	所内にて食事会・お茶会実施
6	24	パン作り体験	所内にてパン作り実施・お茶会
	26	消防訓練(避難訓練)	社会福祉協議会・マザーズ・作業所合同訓練
	26	緑のカーテン設置作業	ゴーヤ・ミニトマト苗植え
7	10	所内行事	お楽しみお茶会（七夕会に変えて）
8	12～14	利用者夏期休所	
10	19.20.22	利用者健康診断	高橋医院
12	8	消防訓練（避難訓練）	社会福祉協議会・マザーズ・作業所合同訓練
	25	所内行事 利用者仕事納め	クリスマス会（所内調理活動を兼ねる）
	28～1/4	利用者冬期休所	
1	5	利用者仕事初め	
	8	新年会	お楽しみ昼食会（お雑煮会）・お茶会
2	2	所内行事	節分・豆まきの会（お茶会）
3	3	所内行事	ひな祭りの会（お茶会）
	26	所外学習事業	所外学習にかえてお楽しみ昼食会（所内） ※コロナウイルス対応の為外出行事中止
	31	年度末納会	所内お茶会（送別会を兼ねる）

※調理実習：毎月1～2回程度実施

※お楽しみ昼食会・お茶会：月1回程度実施

※山武市観光協会への製品（缶バッチ）の委託販売

※マザーズホームとの合同避難訓練を実施（月1回）



②山武福祉作業所

実施月日	行事名称	行事等の内容	備考
4	1	年度始め	
7	7	七夕会	お茶会
8	11	納涼会	お茶会
	12～ 14	利用者夏期休所	
	28	自主避難訓練	地震避難訓練
9	6	お月見茶会	お茶会
	18	所内行事	ボッチャ・昼食会・レクリエーション
	24・ 28	利用者健康診断	睦岡クリニック
10	8		
	9	ハロウィンの会	お茶会
	30	所内行事	昼食会・ボッチャ
11	20	昼食会	
12	25	クリスマス会	所内行事（昼食会・ビンゴ）
	28～ 1/4	利用者冬季休所	
1	5	利用者仕事初め	
	7	七草のお茶会	お茶会
	21	昼食会	所内食事会
2	3	節分の会	お茶会
	22	自主避難訓練	火災想定避難訓練
3	3	桃の節句お茶会	お茶会
	15	昼食会	所内食事会
	29	年度末納会	所内お茶会

※隔月で調理実習を実施

※買い物実習等の外出訓練はコロナ対応のため休止

※コロナ感染拡大防止のため、車両と室内の消毒作業を実施

③松尾福祉作業所

実施月日	行事名称	行事等の内容	備考
4	1	年度始め	
	9	所内行事	花見会
6	12	所内行事	お楽しみ食事会
	29	所内行事	お楽しみ食事会
7	7	所内行事	七夕会
8	12～ 14	利用者夏期休所	
9	17	所内行事	お楽しみ食事会
10	29	所内行事	ハロウィンパーティー
	26～ 30	利用者健康診断	松尾クリニック
11	20	所内行事	お楽しみ食事会
12	4	所内行事	クリスマスツリー作り
	25	所内行事	クリスマス会・大掃除
	28～ 1/4	利用者冬期休所	
1	5	利用者仕事初め	
	18	所内行事	新年会
2	2	所内行事	節分・豆まきの会
	19	所内行事	お楽しみ食事会
3	3	所内行事	ひな祭りの会
	31	所内行事	送別会・年度末納会

※買い物体験・レクリエーションを実施

※隔月調理実習を実施

※健康増進・リフレッシュのためウォーキングを実施

<その他>

①入所希望の見学者や関係各機関の見学希望者の受入等（通年）：3作業所

【市行政担当部課・東金特別支援学校・さんネット・ゆりの木・山武ブリオ等】

②相談支援事業者との調整（通年）：3作業所

【ゆりの木・みどり学園・光洋苑・たけのこ・あいの手・吉祥苑・マナの家・街かど相談室ると・ぬくもり等】

③福祉機関・教育機関などから、職場体験や実習生の受け入れを実施（通年）：3作業所

【東金特別支援学校・成徳大学・城西国際大学】

④職員研修

実施月日	行事名称	行事等の内容	参加者数
1/18～ 2/28 まで	千葉県障害者虐待防止・ 権利擁護専門研修	○動画視聴による研修 (1) 職員のメンタルヘルス編 (2) 虐待につながる身体拘束の防止編	(全職員) 14名

⑤代表者会議（全11回）

目的と概要	市内3か所設置されている福祉作業所の情報を共有することを目的に代表者会議を開催した。
考 察	令和2年度は、主に新型コロナウイルス感染防止の取り組みや、コロナ禍でのサービス提供について話し合う機会を増やし、情報の共有に努めた。今後も感染防止しながら、利用者が安全安心に利用できるように努めていく。
実施回数	11回
延べ人数	延べ44名
主な内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緊急事態宣言が発出されたことによる対応について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染防止について</li> <li>(2) 自粛要請について</li> <li>(3) 送迎サービスの中止について</li> <li>(4) 業務継続計画（BCP）について</li> </ol> </li> <li>2. 送迎サービスの運行について</li> <li>3. 指定管理施設モニタリングの報告等について</li> <li>4. 送迎サービスの見直しについてなど</li> </ol>

## (2) 山武市簡易マザーズホームの経営

目的と概要	心身の発達に支援を必要とするお子さんに対し、いろいろな遊びや経験を重ねながら日常生活における基本的動作を習得し、集団に対応できるための活動を実施した。	
考 察	新型コロナウイルス感染症の対策をしながらの療育となり、計画通りにすすめることが難しい部分も多くあった。対応や内容を変更して行事等も行ったが、今後も更なる工夫が必要とされる。	
登録者数	53名	
利用別在籍数	児童発達支援事業：35名 放課後等デイサービス：18名	
延べ利用者数	1,885名（たんぽぽ：1,435名、おひさま・みつばち・PT：450名）	
開所日数	235日	
職員体制	管理者 1名（社協事務局職員が兼務） 児童発達支援管理責任者 1名 常勤職員 4名（児童発達支援管理責任者を除く）	
事業実績	活 動 名	実施回数
	理学療法訓練（茂木先生）	9
	心理発達検査・相談（小山先生）	8
	言語発達指導（西本先生）	8
	作業療法訓練（小林先生）	3
	音楽療法訓練（宍戸先生 小林先生）	7
	内科健診（高橋先生）	1
	歯科健診（堀角先生 他）	1
	摂食嚥下指導（堀角先生 他）	4
	作業所との交流会	0
	育児サークルとの交流会	0
	避難訓練（自主訓練）	12
	幼・保・学校への訪問、見学等、連携	6
	保護者会活動（紙面にて、総会・勉強会）	2
	園外保育（バス遠足2回）	0
	夏まつり	1
	レク大会	1
	クリスマス会	1
卒園を祝う会（児童発達支援事業）	1	
マザーズ主催研修会	0	

### (3) 山武市山武福祉センターの経営

目的と概要	施設の設置目的である地域住民の福祉の推進及び福祉意識の高揚を図る場として、会議室等の貸出を行った。
考察	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設貸出中止や使用人数の制限などから、前年度に比べ大幅に減少した。
利用実績	施設利用実績 722名 貸出延べ回数 319回
避難訓練	【自主訓練】 令和3年3月9日（火）

### (4) 山武市成東老人福祉センターの経営

目的と概要	施設の設置目的である高齢者の健康増進、教養の向上並びにレクリエーションの場として、会議室等の貸出及び自主事業を開催した。
考察	利用実績は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設貸出中止や使用人数の制限などから前年度に比べ大幅に減少した。同様に、自主事業も開催見合わせとなった。
利用実績	施設利用実績 3,891名 貸出延べ回数 330回
避難訓練	令和2年6月26日(金) ○簡易マザーズホーム・成東福祉作業所合同 令和3年12月8日(火) ○簡易マザーズホーム・成東福祉作業所合同 ※新型コロナウイルス感染防止の観点から消防署員の立会はなく自主訓練を行った。
自主事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年1月に高齢者向けの終活講演会を実施するため準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止とした。</li> <li>自主団体（脳トレ健康教室、健康麻雀教室等）への協力</li> </ul>

## 8. 社会福祉協議会の基盤強化

### (1) 苦情解決相談の受付

#### ①福祉サービスに対する苦情解決の実施

目的と概要	社会福祉協議会が行う福祉サービスに関わる苦情解決の仕組みを整備することで利用者の権利を擁護し福祉サービスの適切な利用を支援するとともに本会の福祉サービス等の適正と信頼を確保するため、窓口を設置した。
苦情件数	0件

#### ②第三者委員の設置

目的と概要	苦情解決に社会性や客観性を確保するとともに、福祉サービスの利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置した。
委員数	3名

### (2) 会員募集の実施

#### ①一般会員、賛助会員、特別会員の募集

目的と概要	社会福祉協議会の財源は会費、補助金、共同募金配分金が主なものである中で特に自主財源確保の基盤として、山武市に居住する方並びに社会福祉に関心を有し本会の趣旨に賛同する方に対し会員募集を行った。		
考 察	一般会費については、区・自治会活動が年々縮小傾向にあることが実績減の要因である。未協力地区への再依頼は、引き続き実施する。 賛助会費は、コロナウイルス感染拡大の影響でマイクロバスの貸出実績が1回のみであったことが減少の要因である。		
実 績	〈会員の種類〉		
	種類	会員数	会費額(円)
	一般会員	10,547	4,877,602
	賛助会員	21	30,000
	特別会員	2	10,000
計	10,570	4,917,602	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会員〈市内各世帯〉 一口 500円</li> <li>・賛助会員〈役員・個人〉 一口1,000円</li> <li>・特別会員〈篤志家・会社〉 一口5,000円</li> </ul>		

### (3) 共同募金会運動・日本赤十字社社資募集運動への協力

#### ①赤い羽根共同募金運動の実施

目的と概要	地域の誰もが幸せに安全で安心して暮らしていける明るい社会を実現するために思いやりとたすけあいの心を持ち寄る運動として募金活動を実施した。																																
考 察	コロナ禍の影響で街頭募金、イベント募金は中止したが、職域募金については、募集先を拡大し実績を増やすことができた。全体的には前年度の 95%実績となった。今後も募集活動の工夫が必要であるとする。																																
会議等	①令和2年度ブロックオンライン会議 令和3年2月17日(水) ②令和2年度第2回支会事務局長会議 令和3年3月5日(金)																																
実 績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数等</th> <th>募金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>10,026件</td> <td>4,633,600円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>0か所</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>355法人</td> <td>1,598,000円</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td>18校</td> <td>192,104円</td> </tr> <tr> <td>職域募金</td> <td>市役所・社会福祉施設・社協</td> <td>86,624円</td> </tr> <tr> <td>イベント募金</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>個人募金(篤志家)</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>31件</td> <td>78,729円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>6,589,057円</td> </tr> </tbody> </table>			種別	件数等	募金額	戸別募金	10,026件	4,633,600円	街頭募金	0か所	0円	法人募金	355法人	1,598,000円	学校募金	18校	192,104円	職域募金	市役所・社会福祉施設・社協	86,624円	イベント募金	0件	0円	個人募金(篤志家)	0件	0円	その他	31件	78,729円	合 計		6,589,057円
種別	件数等	募金額																															
戸別募金	10,026件	4,633,600円																															
街頭募金	0か所	0円																															
法人募金	355法人	1,598,000円																															
学校募金	18校	192,104円																															
職域募金	市役所・社会福祉施設・社協	86,624円																															
イベント募金	0件	0円																															
個人募金(篤志家)	0件	0円																															
その他	31件	78,729円																															
合 計		6,589,057円																															

#### [法人募金]

実施日	令和2年11月～
場所	市内全域
活動者	14地区社会福祉協議会福祉推進員

②歳末たすけあい募金運動の実施

<p>目的と概要</p>	<p>共同募金運動の一環として「新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、市民の参加や理解を得て様々な福祉活動を重点的に展開する。」ことを目的に募金活動を実施した。 山武市では特に支援を必要としている在宅者への歳末見舞金贈呈事業及び福祉関係団体の活動費助成などを行った。</p>																							
<p>考 察</p>	<p>コロナ禍であるが、募金活動は例年通り実施でき、昨年度実績の95%を達成することができた。事業についても見舞金の配布及び団体助成は例年通り実施することができた。</p>																							
<p>募金実績</p>	<table border="1" data-bbox="432 573 1385 875"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>件数 (件)</th> <th>募金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>10,225</td> <td>1,913,840円</td> </tr> <tr> <td>その他の募金</td> <td>2</td> <td>6円</td> </tr> <tr> <td>前年度繰越金</td> <td></td> <td>83,927円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>1,997,773円</td> </tr> </tbody> </table>			種 別	件数 (件)	募金額	戸別募金	10,225	1,913,840円	その他の募金	2	6円	前年度繰越金		83,927円	合 計		1,997,773円						
種 別	件数 (件)	募金額																						
戸別募金	10,225	1,913,840円																						
その他の募金	2	6円																						
前年度繰越金		83,927円																						
合 計		1,997,773円																						
<p>助成実績</p>	<table border="1" data-bbox="416 954 1385 1491"> <thead> <tr> <th>助成先</th> <th>件数等</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅者見舞金</td> <td>134件</td> <td>670,000円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td>11,532円</td> </tr> <tr> <td>福祉活動団体支援事業</td> <td>23団体</td> <td>424,000円</td> </tr> <tr> <td>剰余金 (令和3年度社協事業へ配分)</td> <td></td> <td>550,000円</td> </tr> <tr> <td>繰越金 (令和3年度歳末事業へ配分)</td> <td></td> <td>342,241円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>1,997,773円</td> </tr> </tbody> </table>			助成先	件数等	助成額	在宅者見舞金	134件	670,000円	経費		11,532円	福祉活動団体支援事業	23団体	424,000円	剰余金 (令和3年度社協事業へ配分)		550,000円	繰越金 (令和3年度歳末事業へ配分)		342,241円	合 計		1,997,773円
助成先	件数等	助成額																						
在宅者見舞金	134件	670,000円																						
経費		11,532円																						
福祉活動団体支援事業	23団体	424,000円																						
剰余金 (令和3年度社協事業へ配分)		550,000円																						
繰越金 (令和3年度歳末事業へ配分)		342,241円																						
合 計		1,997,773円																						



③日本赤十字社社資募集運動の実施

目的と概要	生命と健康を守り、人間の尊重を確保するとともに、全ての国民間の相互の理解、友情、協力および堅固な平和を助長すること等を目的とし、その目的を果たすための事業活動資金としての社資募集運動を実施した。		
考 察	コロナウイルス感染防止に努め、社資募集を実施した。今後も法人社資の実績が増えるよう努める。		
社資等 実績	種別	件数等	金額
	一般会費	10,799件	4,876,667円
	法人会費	232件	792,300円
	その他	6件	251,006円
	合 計	11,037件	5,919,973円

#### (4) 関係団体支援事業及び連携強化

目的と概要	社会福祉協議会では、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、赤十字奉仕団、ゴールドクラブ連合会の事務局を担い、積極的な支援を行った。
考 察	新型コロナウイルス感染症防止のため、各団体の事業は殆ど中止となった。

##### ①山武市ボランティア連絡協議会

実績	<p>会員数 449名（前年度：455名） 内訳：27グループ 431名 個人18名</p> <p>○第15回総会（文書にて承認を得る。）</p> <p>○ボランティア連絡協議会会員交流研修会 ＜ボランティアスマホカフェ＞ ボランティア・市民活動センターと共催 期 日 令和2年12月18日（金） 場 所 さんぶの森交流センターあららぎ館 市民交流サロン 参加者 5名</p> <p>○その他の事業は、新型コロナウイルス感染の拡大防止のため中止</p>
----	--

##### ②山武市身体障害者福祉会

実績	<p>会員数 50名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業及び会計監査〔事務局が監事自宅訪問で実施〕（4月）</li> <li>・ 総会 書面議決（5月）</li> <li>・ 山武地区身体障害者福祉会主催会議（7月8日、15日）</li> <li>・ 第1回役員会〔成東老人福祉センター〕（7月22日）</li> <li>・ 千葉県障害者スポーツ大会申込み後に中止</li> <li>・ 第2回役員会〔成東老人福祉センター〕（10月1日）</li> <li>・ 千葉県身体障害者福祉協会主催事業「作品展」への参加（10月19日～25日）</li> <li>・ 山武市スポーツレクリエーション大会〔成東老人福祉センター〕（11月9日）</li> <li>・ 第3回役員会〔成東老人福祉センター〕（12月15日）</li> <li>・ 友愛訪問（12月全会員宅訪問）</li> <li>・ 千葉県在宅重度障害者慰問品贈呈事業（12月）</li> <li>・ 新年あいさつ訪問（1月全会員宅郵送）</li> <li>・ 第4回役員会〔成東老人福祉センター〕（3月22日）</li> </ul> <p>※資源ごみ回収運動実施 ※学校福祉教育事業協力 ※会員増員運動実施</p>
----	--

③山武市手をつなぐ親の会

実績	<p>会員数 54名（賛助会員含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会 書面議決（5月）</li> <li>・クリスマスプレゼント作成、郵送（12月全会員宅）（12月）</li> <li>・役員・定例会（毎月）の開催</li> <li>・山武郡市連絡協議会、千葉県育成会主催事業等への参加</li> </ul>
----	---

④山武市赤十字奉仕団

実績	<p>団員 54名 （主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打合せ1回（6/16）</li> <li>・役員会3回（6/24、7/16、8/18）</li> <li>・法人社資募集活動（9月）</li> </ul>
----	--

⑤山武市ゴールドクラブ連合会

実績	<p>クラブ数 67クラブ 会員2,355名 （会議）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会3回（7/13、10/24、3/12）</li> <li>・専門部会3回（7/29、8/25、8/26）</li> </ul> <p>（市事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山武市ゴールドクラブ連合会表彰式典（11/20）</li> </ul> <p>（山武地区事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山武地区老人クラブ役員連合会総会（6/17）</li> </ul>
----	---

(5) その他

①社会福祉現場実習生の受入れ

目的と概要	各資格取得プログラムの一環や福祉現場の体験学習として、社会福祉活動の各現場で実習生の受入を行った。
-------	---

【社会福祉士資格】

所 属	人 員	期 間	内 容
聖徳大学	1名	6/15～7/30 (24日間 180時間以上)	全部署における援助技術現場実習
城西国際大学	1名	10/8～11/10 (24日間 180時間以上)	全部署における援助技術現場実習

【保育士】

所 属	人 員	期 間	内 容
千葉経済大学短期大学部	1名	10/19～10/30 (10日間)	マザーズホームでの実習

②寄附金品

区分	件数	金額	備考
現金	24件	333,091円	
物 品	86件	内訳：マスク・野菜・食品・米・衣類・学用品	
その他（資源リサイクル）	プルタブ・アルミ缶・ペットボトルキャップ等		
考 察	現金の寄付額は減少しているが、物品の寄付は年々増加している。また例年に比べ今年度は特にマスク、お米の寄付が多くみられた。		

③非正規職員待遇等調査の実施

概要と目的	働き方改革関連法の施行を受け、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保など非正規職員の労働条件を見直すため、県内の社会福祉協議会の取り組みについて調査を実施した。
考 察	回答のあった35市町村社協の約半数が、正規職員と非正規職員の間不合理な待遇の差をなくすための取り組みについて、「取り組んでいる」又は「今後取り組む予定である」と回答があった。 当協議会でもこの調査結果も基に、今後も継続して山武市と協議しながら非正規職員の労働条件の見直しを実施していく。
調査対象	千葉県内53市町村社会福祉協議会（山武市を除く）
調査期間	9月4日から9月18日まで
回答数	35社協
回答率	66.04%